委員会審査

６月定例会で常任委員会に付託された議案等について審査を行いました。

総務企画委員会

委員長　安川　哲生

◆地域公共交通対策事業について

説明　地域内交通の見直しに伴い、協議やアンケートを実施している南久米・豊茂・五郎の３地区において、１年間無償で実証運行を行うことにより本格運行につなげていくもので、乗降場所表示スタンドやスクールバスなどの運行委託料、そしてタクシー使用料など、計197万６千円が計上されているもの。

問　**今後の進め方について**

答　今回の実証運行は１年間無償で進め、利用状況などを踏まえたうえで、適宜見直しを行いながら本格運行につなげていきたい。また、平成30年３月に策定した『地域公共交通網形成計画』に基づき、５年間で運行体系、受益者負担などについて、市内統一のものとしていきたい。

問　**地域内交通を利用した方が、市内中心部へ移動する場合に乗り換えをすることとなるが、その負担はどう考えているのか。**

答　周辺部から市内中心部への移動は、路線維持の観点からも、路線バスやＪＲを利用していただくことになるが、運賃体系には差があるため、今後引き続き検討していきたい。

厚生文教委員会

委員長　宇都宮　宗康

◆認定こども園施設整備事業について

説明　「大洲市立幼稚園・保育所再編計画」に基づき、認定こども園に移行するため、肱南地区では、大洲保育所の増築に係る実施設計委託料等を、肱北地区では、隣接する喜多幼稚園及び肱北保育所を一体的に使用するための施設改修費用として、計３，616万３千円が計上されているもの。

問　**この２園の具体的計画について**

答　肱南地区は、大洲保育所の裏手に増築する計画で、今年度は増築の設計を行い、来年度着工し、令和３年４月から大洲保育所、肱南保育所、大洲幼稚園の３園を統合した認定こども園としてオープンしたいと考えている。また、肱北地区は、今年度設計、工事を行い、令和２年４月からオープンしたいと考えている。

今後、この２園を認定こども園化するに当たり、幼稚園教諭と保育士が一緒に業務を行うことになるため、検討委員会を設置し、すり合わせを行うこととしている。その概要が決定次第、地元や保護者に対する説明会を開催したいと考えている。

問　**肱南地区の認定こども園は、昨年の災害以降、肱南保育所が大洲児童館で臨時的に運営しているため早く進めてほしいと思うが、本会議の一般質問で、付近の堤防に浸潤があったことから安全性に問題があるのではとの指摘に対し、安全とは言えないという答弁であったと認識している。安全性に不安があるが、この建設予定地以外に候補地はなかったのか。**

答　数カ所の候補地を検討したが、現在の大洲保育所がまだ新しく、ある程度まとまった土地が隣接しており、増築することで３園を集約できることから、この場所に決定したものである。

産業建設委員会

委員長　中野　寛之

◆農村地域防災減災事業について

説明　この事業は、農業用ため池の適正な管理・保全及び決壊による被害を防止するため、本年４月に、農業用ため池の管理及び保全に関する法律が制定されたことに伴い、地震や豪雨等により決壊すると影響が大きいと思われる防災重点ため池について、その危険性を地域住民へ伝えるため、浸水想定区域図を作成するもの。